

江戸川区の共生社会ホストタウン 活動計画

パラスポーツ先進国であるオランダとの連携事業や、これまでのまちづくりで培った障害者団体とのネットワークなどを活用して、障害理解を深め、障害者の社会参加を促進していく。本活動計画を広く区民に知らせるとともに、区民と一体となって、「だれもが安心して自分らしく暮らせるまち」の実現を目指す。



ユニバーサルデザインのまちづくり

障害当事者とともにつくるまちづくり

障害者団体、Game Changer Project関係者と連携したバリアフリーマップの作成・改良
「ゼロ段差擦り付けブロック」の設置



段差ゼロ

未来に向けたまちづくり

共生社会推進に関する庁内情報共有機会の創出
バリアフリー法に基づくマスタープランや基本構想の検討着手

障害者のスポーツ環境の向上

魅力ある公共スポーツ施設の整備

スポーツセンター、陸上競技場等のバリアフリー化工事の実施

人材の育成

障害者スポーツ指導員を「えどがわパラスポアンバサダー」として登録(現在112名)し、障害者のスポーツ支援に活用
オランダの「スポーツサービスポイント」を参考に、パラスポーツに関する相談機能を区内スポーツ施設7か所に創設
障害者が通年でパラスポーツに参加できるスポーツクラブ「オランダクラブ「Be Creative!」」を総合体育館に開設

パラアスリートを対象としたスポーツ活動支援

寄付金を原資とし、パラリンピック等を目指すアスリートを資金面から支援(スポーツ夢基金事業:延べ45名・2996万円/4ヵ年)

心のバリアフリー

オランダに学ぶ共生社会 “Game Changer Project ”

オランダのパラアスリートや指導者との交流機会の創出
対象:小中学生、特別支援学校(生徒・教師)、
障害者スポーツ指導員、理学療法士を志す専門学生 等

【交流実績】

2017年度:パラスポーツイベント来場者	1,000名
2018年度:特別支援学校、指導者等	116名
2019年度:小学校、特別支援学校等	472名



スポーツを通じた障害理解の促進

多様な主体を対象とした「ポッチャ」体験会の開催
未就学児(発達障害)、小中高生、重度障害者、高齢者 等
区内に専用施設がある「パラバドミントン」をわがまち競技とし、アスリートによる体験会や大会応援バスツアーを開催
オランダ発祥のユニバーサルスポーツ「コーフボール」の体験教室を開催。2019年度、漫画を作成し競技の魅力をもPR・普及促進

先駆的な手法を用いた取組

東京62区市町村で唯一の障害者スポーツ専管組織の設置
昨年度はパラスポーツ啓発事業:28回/8,967人、体験教室事業:42回/1,313人、人材育成事業:15回/753人に実施
カーディーラーや専門学校と連携したパラスポーツ振興
パラスポ漫画をアニメ専門学校と連携して制作し、毎年4,400部を印刷し、小中学校や病院・薬局等に配布
都内自治体で初となる「手話言語条例」の制定
障害の有無を問わず集える拠点「なごみの家」の設置

